



2025 年 朝日放送テレビ・ラジオ新春社長記者会見

2025 年 1 月 24 日開催

朝日放送テレビ 代表取締役社長 今村俊昭
朝日放送ラジオ 代表取締役社長 高橋靖史

司会 加藤明子アナウンサー

■朝日放送テレビ 今村社長より

・年間視聴率/10 月クール/3 日視聴率

年間視聴率では、個人全体視聴率で 2013 年以來 11 年ぶりの全日・ゴールデン・プライム 3 冠。また 10 月クールも全日・ゴールデン・プライムの 3 冠となり、4 クール連続の 3 冠は初。正月三が日は、全日・ゴールデン・プライムの個人全体視聴率で 3 冠。正月三が日の 3 冠は 2022 年以來 3 年ぶり。

・「M-1 グランプリ」、「芸能人格付けチェック」総括

「芸能人格付けチェック」個人全体視聴率が、関西 16.3%・関東 14.4%と東西ともに同時間帯で断トツ、関東は番組歴代 2 位。シェアは関東、関西ともに歴代トップ。「M-1」は、エントリー数が 1 万組を突破。「決勝」の関東でのシェアは歴代トップ。また TVer リアルタイム配信では視聴人数(UB 数)がおよそ 115 万人、最大同時接続数がおよそ 42 万台と、サービス開始以來最も多くの方に視聴された番組となった。

・日曜 22 時ドラマ

1 月 12 日にスタートした「フォレスト」は、第 1 話の TVer・ABEMA での見逃し配信の再生回数が 200 万回を突破し、ABC テレビドラマの歴代最高を記録。

・阪神淡路大震災から 30 年

・大阪・関西万博/「ACN EXPO EKIDEN 2025」ほか

7 月 21 日、22 日には、大阪・関西万博会場内で、「Q-1」のイベントを開催。また、防災の日である 9 月 1 日から 4 日には、阪神淡路大震災発生当時の ABC 取材映像を基にした防災企画展示を実施。ABC グループ全体で、震災からの復興や防災の重要性を世界へ継続して発信していく。

■朝日放送ラジオ 高橋社長より

・「オーディオ高校野球」について

・秋の改編「ツギハギ」「みっくすっ。」

開始から3か月余りがたち、それぞれの曜日で、番組の型が出来上がりつつある。各出演者のコアファンを軸にリスナーを拡大させることで、放送以外での展開も含めたコンテンツの成長を目指していきたいと考えており、タイムフリー聴取の割合が多い夜帯を中心とした枠では、今後もその流れを強化していく。

・「ABC ラジオまつり」

土日2日間開催にチャレンジ。両日ともに天気に恵まれ、2日間合計で70000人が来場。3つのどのステージも多くの人ができ、オリジナルクラフトビールが完売するなど物販も好調。スポンサーセールスも、おとしからさらに伸ばした結果を残せた。

・阪神淡路大震災から30年

1月13日の祝日に3時間の生放送で「ABCラジオ ぼうさい部スペシャル あの日に学ぶ 未来への備え」という防災特番を放送。追悼の集いが行われた1月17日は、「おはようパーソナリティ古川昌希です」を神戸KIITOからお届けした。いまABCグループ全体で防災プロジェクトを推進しており、ラジオ社としても、今後もしっかりと取り組んでまいりたい。

・大阪・関西万博特番「ACN EXPO EKIDEN 2025」ほか

開幕初日の午前10時より、会場内の公開ステージから生中継で、「辛坊治郎の万博ラジオ 開幕スペシャル」を放送することが決定。開幕初日の会場の熱気、お祝いムードを、この特番を通じて存分にお伝えしたい。

「大阪・関西万博開催記念 ACN EXPO EKIDEN 2025」のABCラジオでの解説者は、東洋大学から出場した箱根駅伝で“山の神”と呼ばれた柏原竜二さんと、2003年世界陸上パリのマラソン銅メダリスト・千葉真子さんに決定。

【出席者】

朝日放送テレビ	取締役	中村博信
朝日放送テレビ	取締役	岩田 潤
朝日放送ラジオ	取締役	植田貴之
朝日放送ラジオ	コンテンツデザイン部長	脇谷秀樹

